

## 修験道史研究の成果と課題

### — ご 案 内 —

『論集修験道の歴史』は、21 世紀初頭段階における修験道史研究の成果と課題を概観できる環境を整えることを目的に立ち上げられた企画でした。当初予定より時間がかかりましたものの、2023 年から 2024 年にかけて予定した全 3 巻を刊行いたしました。

この論集を通じて明らかになった達成がある一方、改めて、あるいは新しく浮かび上がった課題もあると考えます。ご高論の収録を許諾くださった皆さまはもちろんのこと、修験道を対象とする研究に関心を持つ方々と議論をともにしたいと考え、この度、オンライン研究会「修験道史研究の成果と課題」を開くことにいたしました。『論集修験道の歴史』が修験道史研究にもたらした成果、また修験道研究のこれまでと今後、隣接諸分野との関連について、林淳氏を司会にお招きし、4 名の編者（川崎剛志・時枝務・徳永誓子・長谷川賢二）および若干のコメンテーターの方（予定）が、意見を交わす予定です。

### 記

■日時 10 月 5 日（土） 15 時～17 時（予定）

■司会 林淳

■パネリスト 川崎剛志・時枝務・徳永誓子・長谷川賢二  
コメンテーター（予定）

■申込方法 専用フォームに必要事項をご入力をお願いします。

締切 10 月 3 日（木） 17 時

※お申込みいただいた方には、後日、[hiroba.tokushima@gmail.com](mailto:hiroba.tokushima@gmail.com) よりメールにてお知らせしますので、しばらくお待ちください。上記アドレスからのメールが受信できるよう適宜、設定いただければ幸いです。

専用フォーム <https://forms.gle/dK65mkiyyCm3i3Ky5>



■お問合せ先 [hiroba.tokushima@gmail.com](mailto:hiroba.tokushima@gmail.com) （世話人：川崎・時枝・徳永・長谷川）